

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|------------|
| 校名 | 大阪府立桜和高等学校 |
| 校長名 | 田中 愛子 |

| | |
|---------|---|
| 開催日時 | 令和7年2月24日(火) 15時～16時30分 |
| 開催場所 | 大阪府立桜和高等学校 小会議室 |
| 出席者(委員) | 瓜生 彩子 様 神山 卓也 様 松原 美佐都 様 関根 幹雄 様 北村 志生 様 |
| 出席者(学校) | 校長：田中 愛子 教頭(事務局長)：福原 泰一 事務長：平井 克彦 首席：栗本 幸治 首席：渡辺 久丹栄 生活指導部長：明貝 繁樹 進路指導部長：伊藤 達夫 教職教育コース長(探究)：伴田 実 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議資料 | 令和7年度学校経営計画最終評価について(各部報告) 令和8年度学校経営計画について |
| 備考 | 欠席一破戸 章 様 |

| |
|--|
| 議題等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○開会のあいさつ(校長) ○令和7年度学校経営計画及び学校評価(最終報告) ○各部報告 ○令和8年度学校経営計画について ○閉会のあいさつ |
| 協議内容・承認事項等(意見の概要) |
| <p>2. 学校評価に関する協議</p> <p>(1) 課題提出に関する意見について</p> <p>委員より、「全体評価の中で“課題が重なり負担を感じる生徒がいる”との記載があるが、具体的にはどのような状況か」との質問があった。</p> <p>→学校より、各教科で課題が出される中、提出時期が重なる場合があり、生徒によっては負担感を抱くケースがあること、またICTを活用しGoogle Classroom等で一齐に課題配信を行うため、同時期に通知が集中することも一因と考えられるとの説明があった。</p> <p>(2) ICT活用および生成AIへの対応について</p> <p>ICT活用の具体例として、Google Classroomを用いた課題配信・提出、プレゼンテーション作成(Canva等の活用)などを行っている現状が説明された。</p> <p>委員より「AIを活用した課題や、その内容の正確性確認はどのように行っているか」との質問があ</p> |

り、現時点では本格的な生成 AI 活用は次年度以降の検討課題であり、今後は生成 AI の使い方を含めた情報リテラシー教育の充実を図る予定であるとの回答があった。教員・生徒双方が共通理解のもと活用できる体制づくりを進めるとともに、AI 活用が進む中でも対面・体験的学びの価値を大切にしていける方針が示された。

3. 生徒指導・校則に関する協議

「生徒実態に照らし公平感を欠くとの意見があった場合、どのように対応しているか」との質問があった。

→学校より、生活指導部に直接申し出があった事例はなかったが、担任を通じて説明がなされていると考えられること、また校則の成り立ちや趣旨については教職員間で共有しているとの説明があった。あわせて、他校の状況として、年度末に校則の見直しを行う事例が紹介され、本校においても継続的な見直しを行っていく方針が示された。

4. 意見交換

委員から以下の意見があった。

- 部活動の活発さは本校の特色であり、広報でより強調してはどうか
- 私学志向の背景には進学実績や学習支援体制への期待もあるのではないか
- 自転車通学者への交通ルール指導を引き続き徹底してほしい
- 留学生受入れ家庭の確保について、柔軟な受入形態の検討も有効ではないか

→学校より、留学生受入れは訪問団派遣生徒家庭を中心に募集しているが、住宅事情等により難しいケースもあるとの現状説明があった。